



宮久保小学校だより

令和5年7月 No.12

明日への扉



学校教育目標：「夢に向かって挑戦」 <<Challenge for Dream>>

学校評価アンケートにご協力ありがとうございました

過日ご協力いただきました学校評価アンケートについて以下のようにご報告申し上げます。

	項 目	思わない	あまり 思わない	やや そう思う	そう思う
1	お子さんは、授業がわかりやすいと言っている	6.2%	16.7%	53.1%	33.1%
②	お子さんは、わからないことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいる	9.5%	36.7%	37.9%	16.0%
3	お子さんは、家庭学習の習慣が身についている	7.9%	27.0%	38.2%	26.8%
4	お子さんは、友だちや近所の人などに、自分から進んであいさつをしている	4.5%	27.5%	36.7%	31.3%
⑤	お子さんは、自分の役割に責任を持って取り組んでいる	3.0%	17.5%	44.3%	35.3%
⑥	お子さんは、誰とでも優しく関わっている	1.5%	8.2%	39.6%	50.7%
⑦	お子さんは、すすんで（外で遊ぶなど）体を動かしている	7.0%	16.7%	29.4%	47.0%
8	お子さんは、健康に気をつけて生活している	3.2%	17.9%	46.5%	32.3%
⑨	お子さんは、自らの安全（交通事故・けがなど）に気をつけて生活している	1.5%	10.0%	49.5%	39.0%
⑩	お子さんは、規則正しい生活習慣（睡眠・食習慣など）が身についている	3.2%	11.2%	41.0%	44.5%
⑪	学校は、目指す子どもの姿や学校経営方針について、保護者に理解されるよう努めている	5.2%	20.1%	54.5%	20.1%
⑫	学校は、保護者や地域の方々とともに、子どもを育てる取り組みを進めている	6.0%	21.4%	52.0%	20.6%
13	学校は、保護者の思いや願いに対して適切に対応している	8.0%	21.2%	51.9%	19.0%
⑭	学校は、特色のある取り組みや教育を進めている	9.2%	28.9%	47.6%	14.2%
15	学校は、子ども一人一人に適切な指導や支援を行っている	11.2%	25.1%	51.7%	11.9%
⑯	学校は、たより等で学校の様子を十分に保護者に伝えている	3.2%	14.9%	49.8%	32.1%

*○囲み数字の項目は昨年度の同時期のアンケートより肯定的数値が高かった項目です。

それ以外は昨年度と同等或いは微減で、大きくは下がっていません。

*肯定的意見の割合が少しでも増えるよう、学校全体としてより丁寧な取組を行っていきます。

◎自由記述欄 同様の意見はまとめさせていただきました。特定への対応については、ここでは控えさせていただきますが、事実確認し、9月からの改善とさせていただきます。9月以降も地域や企業と連携し、学習の楽しさを実感できる取組を行っていきます。

○国の方針で、1人1台端末となっているが、1年生はタブレットを配付されていない。
⇒学校の周知不足です。申し訳ございません。

国の方針で、1人1台端末ですが、国からの予算付けはなく設置者（市川市）が用意することとなっています。本市は、1学年約3600人。全員配付となると大変な予算が必要となりますので、貸与という形で配付しています。昨年度の中学3年生が使用していたものを、データ等もクリアにして配付しますので、全部の処理が終わり、夏季休業中に学校に搬入され、1年生への配付は例年後期（10月以降）となります。

○他学年間で、いじわるやトラブルもあるようです。配慮願います。

⇒休み時間や、掃除の時間、下校途中に起きているようです。休み時間が終わって校舎に戻る際や昇降口や門近辺で起きているようなので、外に出ている職員は、自分の学級・学年でなくても気にかけるように改めて指導します。昇降口は一気に集まると接触からトラブルになりかねないので、昇降口から出るまで見て送り出すように、特に低学年は行っています。掃除の時間は担任外の職員が、目の届きにくい階段やトイレ近辺の見回りを行います。放課後は、職員と一緒に、混み合うところまで見守りを行っていきます。

○タブレットの持ち帰り・活用について 低学年のタブレット持ち帰りは、重いことや破損の心配もあり、リスクがある。高学年では、連絡帳が配信になっている学級もあるが、親が確認したかわかりづらい点や起動しないと確認できない点がデメリット改善できないか？連絡帳（直に書く）良さもあると思います。残してください。

⇒2年生は、基本学校保管で必要な時に持参するようにしています。1学期は2回持参させて学習で使いました。

⇒3年生は、毎日持ち帰りしていますが、3年生でも重さで負担だと申し入れもありました。国の方針ではノートや鉛筆と同じような扱いでタブレットを活用という方針を打ち出しています。3年生でも体の小さいお子さんにとっては、負担も大きいかもしれません。毎日使い、慣れ親しむことへのメリット、デメリットを現在調査してる段階です。場合によっては、アナログ的な面とハイブリッドに活用していくことも検討していきます。

⇒親が確認したかわかるような活用も行っているが、情報主任が他校の先進的な取組や起動しなくても保護者が確認できている取組などないか情報を集めています。本校に適しているか、実際試して多くの学級に広げる予定です。今しばらくお待ちください。

⇒低学年は、連絡帳を現在使用しています。配信は、子供の書き漏れなし、誤記載なし。デメリットは必要な情報に対して受け手になりがち。修正と検討を加えていきます。

○放課後の過ごし方について、近隣の方に迷惑をかける遊び方をしているメール連絡が来ますが、校庭開放できませんか？国分小は開放しているようですが・・・

⇒放課後の校庭利用は、学童保育クラブがメインに活用中で、約100名の在籍。遊びに来た子との分けも難しく、他校もほとんど未開放（市内全校に確認したわけではありませんが、問い合わせた学校は全て未開放）です。国分小は外環道路工事に伴い、遊び場が減ることを懸念して一時開放していたようですが、現在は開放していないようです。10月開設の放課後子供教室は学童との分けも考量して校庭で遊ぶようです。ご利用ください。

○音楽会など、もっと保護者が学校で子どもの活動を見られる機会を増やしてほしい。

放課後の子ども教室を宮久保小学校でも取り入れてほしい。

⇒昨年度までは、コロナ対応下でしたので、基準に従い、屋内で密になることを避けました。今年度は、前日に学年ごとに開放し、より間近で参観できるようにします。

放課後子ども教室は、市主催の事業で、本校にも10月から開設されることになりました。（放課後子ども教室開設周知前に、アンケートの回答をいただいております。）

○トイレが場所によって不潔汚いので、トイレに行きたがらない。改善できないでしょうか。

⇒今年度から、日課の変更で掃除を行わない日が1日増えましたので、よりその状況が打ち出されているかもしれません。児童トイレは、児童が掃除しているため、やはり手が行き届かないところも多いかもしれません。他校の中では、ボランティア活動の一環として、1年に数回、保護者の手を借りている学校もあるようです。用務員や担任外の手を借りつつ改善を図っていきます。